

世界を見つめ、地域で共に生きる ~ローカルから始まるグローバルアクション~

会場:清泉女子大学

2025年3月8日(土) 13時30分~16時00分



青山学院大学名誉教授 江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科名誉学科長



これまで女性部会では、宗教を持つ女性の立場から「いのちの問題」について考え、行動することを目的に、「いのちに関する学習会」を開催してきました。2022年度から女性部会は、『声なき声に寄り添う』ことをテーマに掲げ、日本に避難を余儀なくされた難民の方々、特に女性や子どもといった脆弱な立場の難民の方々の置かれた状況について学びを深め、発信を行ってきました。

また、女性部会では、東日本大震災(2011年)や熊本地震(2016年)の経験をもとに、災害時に避難所となることが多い宗教施設に対して、災害時に配慮を必要とする方々を宗教施設で受け入れる際のてびき『災害時に備えて 発達障がい児者受け入れのてびき』を2018年に発刊しました。以降、地域や宗教施設での防災や備災への啓発活動を行ってきました。

現在、日本には、海外からの移住者、留学生、難民、避難民など、さまざまな文化・背景をもつ人々が地域コミュニティの中で多く暮らしています。同時に、災害に対する最も重要な供えは、地域における日ごろからの顔の見える関係性づくりとも言われています。そこで、このたびの「いのちに関する学習会」では、平時、さらには災害時において、多様な文化を持つ人々と地域コミュニティで互いに助け合い、共に生きるための具体的行動を考えます。

学習会講師には、江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科長を務めたジョージ・ギッシュ先生(青山学院大学名誉教授)を迎え、地域における多文化共生と国際コミュニティ構築の可能性について考えます。同大学がある江戸川区は、東京23区の中で2番目に外国人居住者が多い場所であり、言語や文化も多様化しているといわれています。ギッシュ氏は2019年まで、同大学学科長として多様な言語・文化背景をもつ人びととの共生、対話、協力のあり方や、国際コミュニティを築くことの重要性を教えてこられました。学習会を通じて、平時から災害時にわたり、地域コミュニティで多様な人びとと共に生きることについての学びを深めて参りたいと思います。

プログラム(敬称略)

※内容は変更になる場合がございます。

13:30 開会・平和の祈り

開会挨拶:松井 ケティ WCRP日本委員会女性部会部会長

(清泉女子大学教授)

13:35 これまでの女性部会の取り組みについて

~日本における難民問題、災害時の要配慮者の受け入れ~

13:40 基調講演「日本社会における多文化理解と外国人との共生」

講演者:ジョージ ギッシュ (青山学院大学名誉教授)

14:25 対話セッション「地域で共に生きること」

15:25 質疑応答(30分)

15:55 閉会挨拶

16:00 平和の祈り、閉会



ジョージ W ギッシュ George W. Gish, Jr.



お申込み

対面での開催となります。(オンライン配信はございません)下記URLをクリック、またはQRコードを読み取り、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。なお、会場参加をご希望の方におかれましては、人数の制限がございますのでお早めにお申込み下さい。

お申込みリンク:

https://forms.gle/ 8QhZCJ75ZRjHy spt9



1936年生まれ、アメリカ・カンザス州出身。 エンポリア・カンザス州立大学卒業後、メソジスト宣教師として初来日。名古屋中央教会や瀬戸永泉教会並びに名音屋学院及び名古屋大学に勤務。以降、日本文化や伝統音楽に深い関心を持ち、ミシガン大学大学院で文化人類学及び日本音楽、琵琶の歴史研究を始める。同大学院修士課程卒業後、再来日。合同メソジスト教会宣教師活動の傍ら、琵

青山学院大学教授、キリスト教視聴覚センター(AVACO) 副理事長、日本キリスト教協議会(NCCJ)副議長、 WCRP日本委員会活動委員・タスクフォースメンバー、江戸川総合人生大学国際コミュニティー学科学科長、山梨英和学院理事長並びに院長などを歴任。論文多数。主な著書に「ワンダフルディファレンス」(2004年、学習研究社)。現在、青山学院大学名誉教授、江戸川総合人生大学名誉学科長、平家琵琶普及会顧問などを務める。(現在東京都目黒区に滞在する。)

(公財) 世界宗教者平和会議(WCRP) 日本委員会

琶の研究を重ねる。

(03-3384-2337

rfpj-info@wcrp.or.jp

ttps://www.wcrp.or.jp